

2) (通勤の状況に変化がある場合)具体的な変化の内容

1)で「以前ほどではないが、通勤ができる」または「以前のように通勤ができない、又は通勤すべきでないと言われた」と回答した患者のうち、通勤の状況に変化がある場合の具体的な変化の内容についてみると、「退職した」が10名中5名と最も多くなっている。

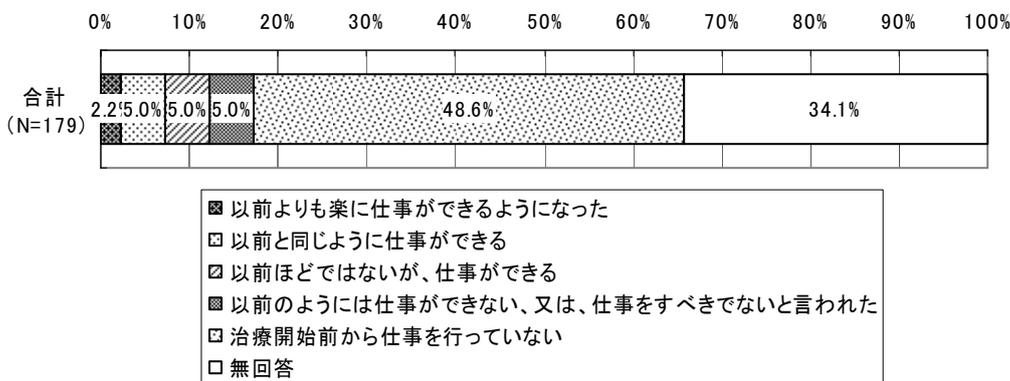
図表 6.11-7 (通勤の状況に変化がある場合)具体的な変化の内容



3) 仕事について

仕事についてみると、「治療開始前から仕事を行っていない」(48.6%)が最も多く、次いで、「以前ほどではないが、仕事ができる」(5.0%)、「以前と同じように仕事ができる」(5.0%)、「以前のように仕事ができない」(5.0%)となっている。

図表 6.11-8 仕事について



4) (仕事の状況に変化がある場合)具体的な変化の内容

3)で「以前ほどではないが、仕事ができる」または「以前のように仕事ができない、又は、仕事をすべきでないと言われた」と回答した患者のうち、仕事の状況に変化がある場合の具体的な変化の内容についてみると、「仕事量を減らした」が18名中10名と最も多くなっている。

図表 6.11-9 (仕事の状況に変化がある場合)具体的な変化の内容

